



2014年度 上半期決算説明会 イビデン株式会社 (4062)

2014年10月31日

**このプレゼンテーション資料には、2014年10月30日現在の
将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
世界経済・競合状況・為替変動等にかかわるリスクや不確定要因
により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。**

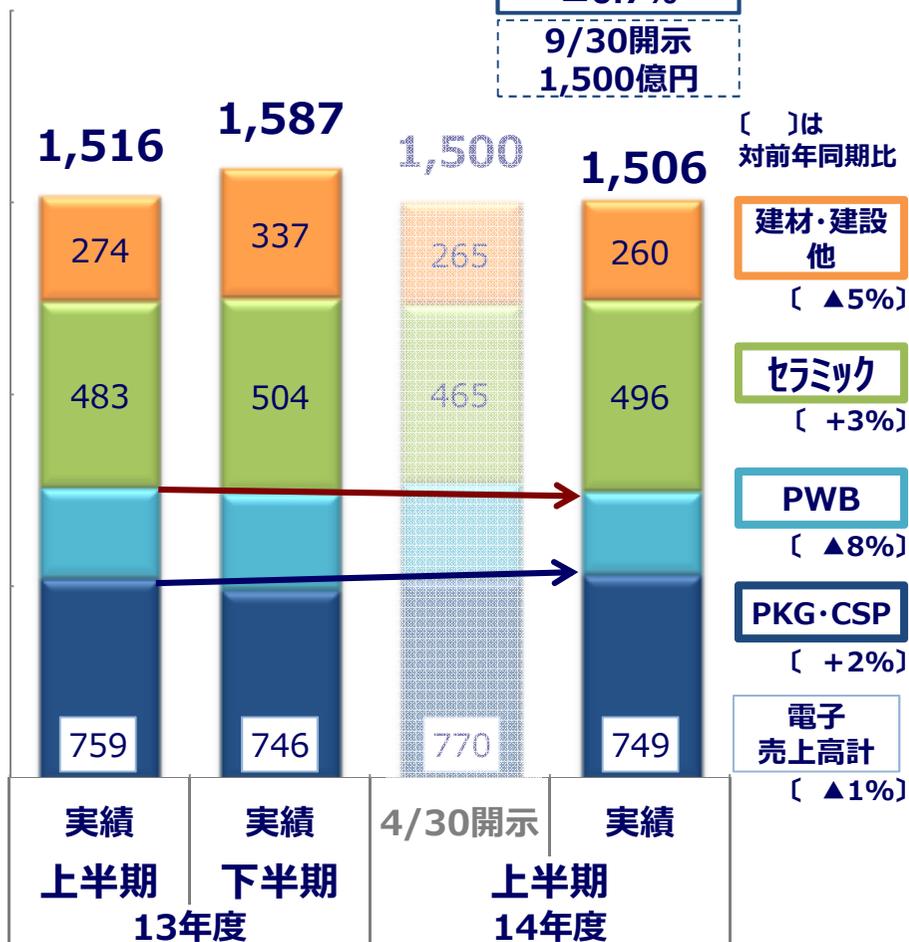
2014年度(上半期) 売上高・営業利益 実績



売上高(単位: 億円)

対前年同期比
▲0.7%

9/30開示
1,500億円

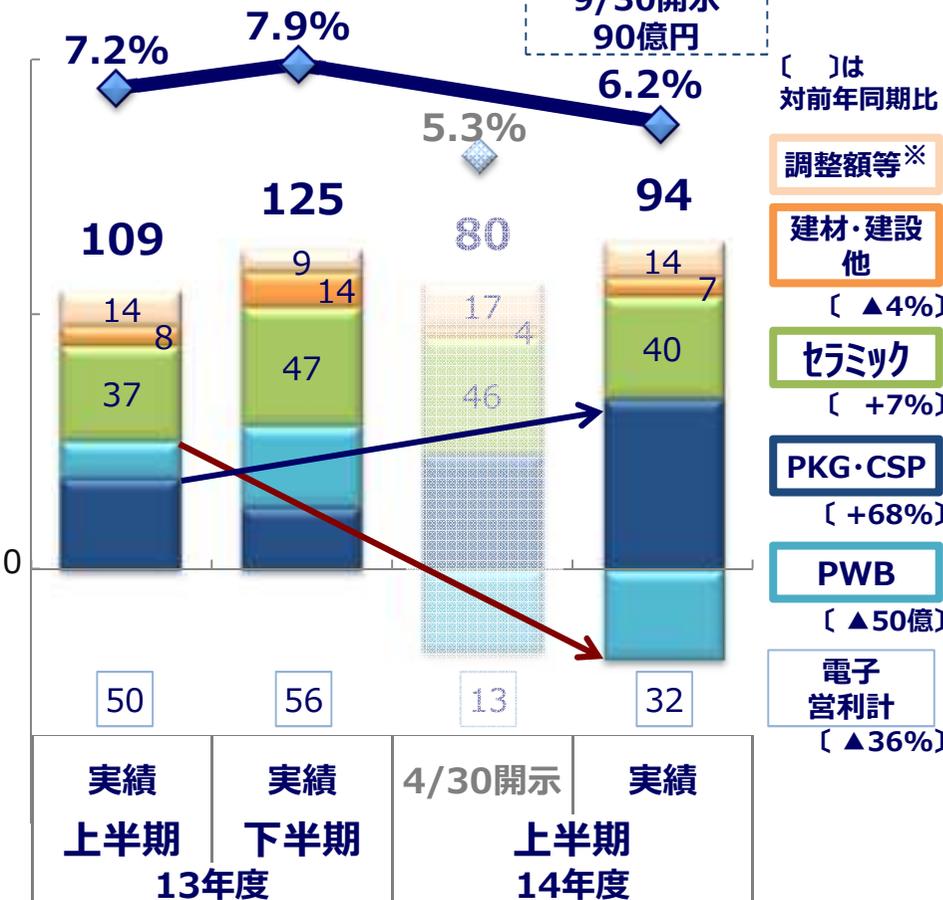


営業利益(単位: 億円)

対前年同期比
▲14.1%

9/30開示
90億円

営業利益率



97 100 100 101
127 136 135 138

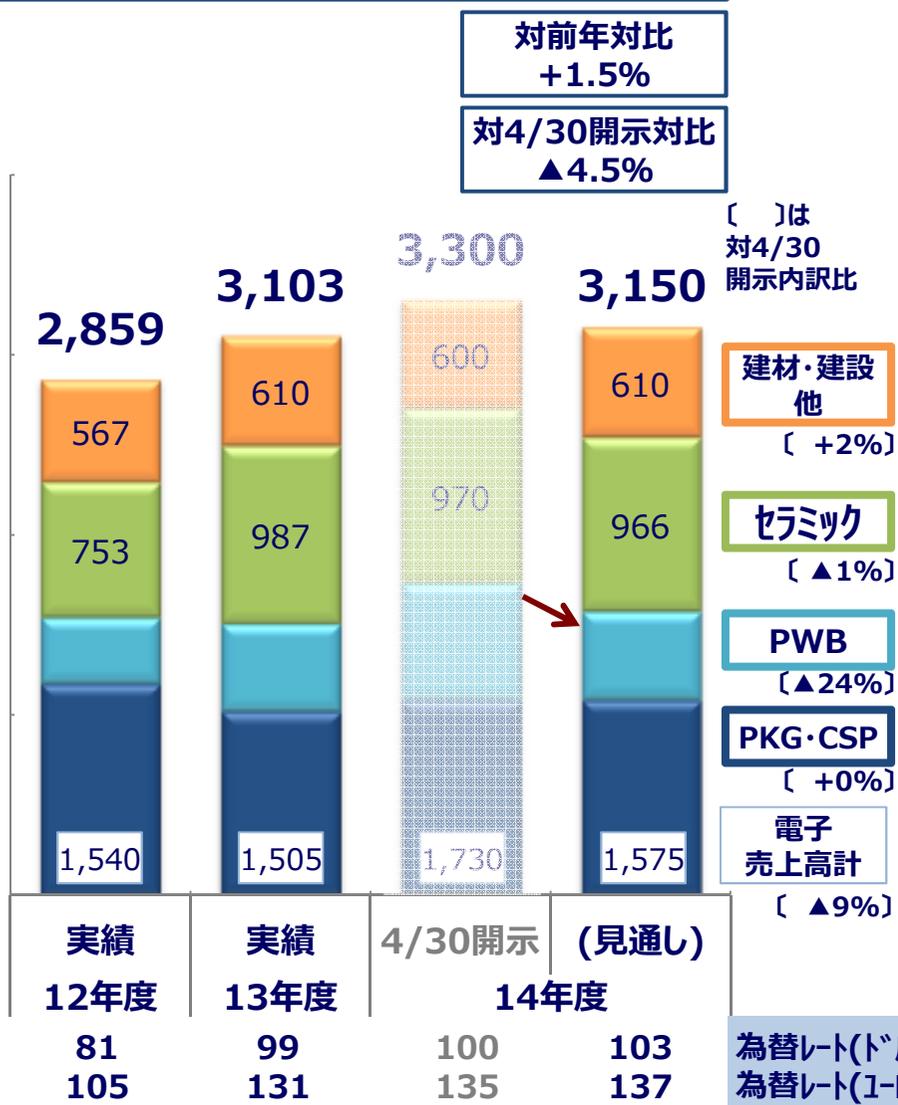
為替レート(ドル)
為替レート(1-0)

※調整額等: 電力利益などの調整

2014年度(通期) 売上高・営業利益 見通し



売上高(単位: 億円)



営業利益(単位: 億円)



課題

対策

1. PWB事業

- (1) サプライヤー:
トップ集団による混戦状態
- (2) スマホ市場:
中国ローカル(低コスト品)の台頭



今一度、QCDで抜け出す
→ PKG + CSP + PWB
2012年度～ 2014年度下期～

2. セラミック事業

- (1) DPF:
 - ・ 現行(1-05)製品終息による平均売価下落
 - ・ 次世代(1-06対応)製品の立上げ、大型車向け先行投資による費用増
- (2) SCR:
1-06移行の端境期に伴う受注減



次の成長期(2016年～)に向け、

- (1) DPF:
大型車向けDPFの立上げ
(ハンガリー、メキシコ新工場)
- (2) SCR:
新興国の大型車向けSCRと
プラント用脱硝触媒の拡販強化

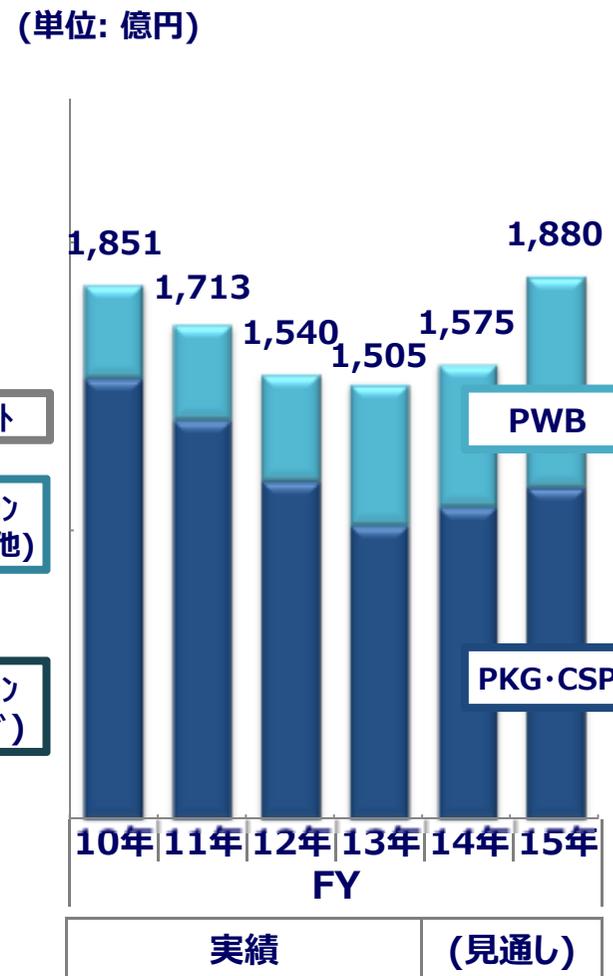
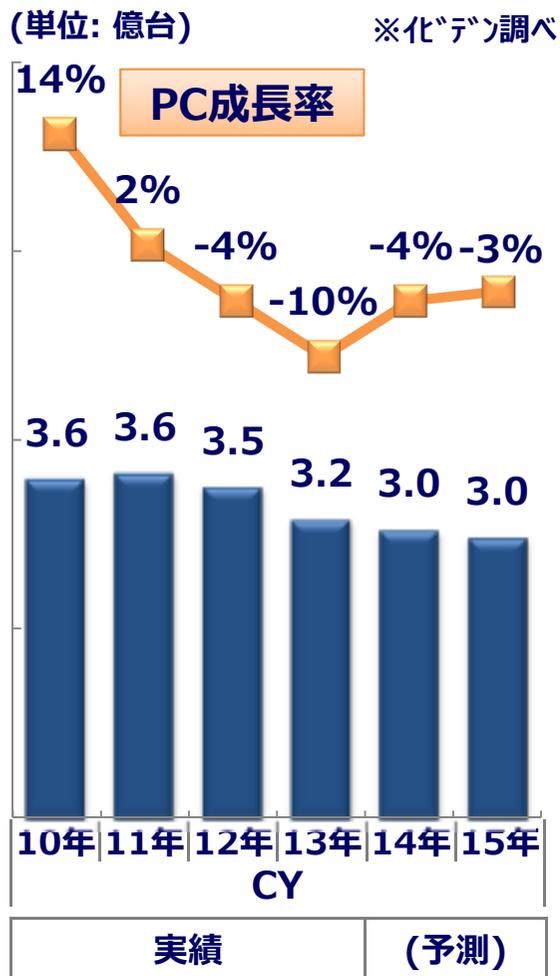
[電子]市場動向と当社事業の見通し



パソコン市場 (PKG)

スマホ・タブレット市場 (CSP・PWB)

電子事業 売上高



[セラミック]市場動向と当社事業の見通し

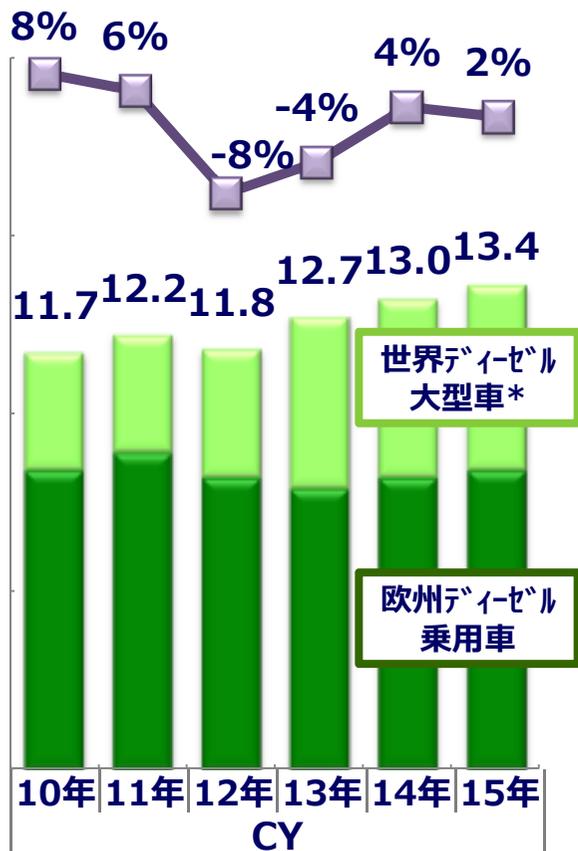


DPF市場

(単位: 百万台)

※化`デ`ン調べ

欧州ディーゼル
乗用車成長率



実績

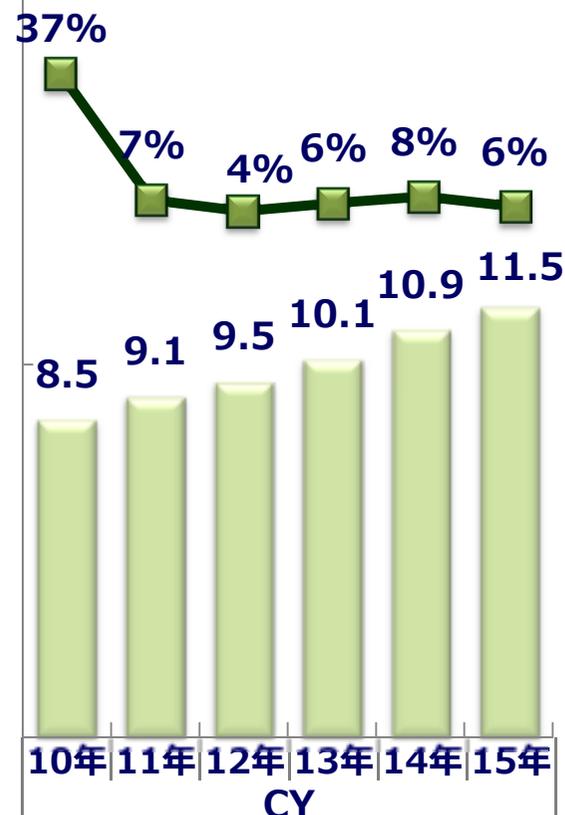
(予測)

マット市場

(単位: 千ton)

※化`デ`ン調べ

マット市場成長率

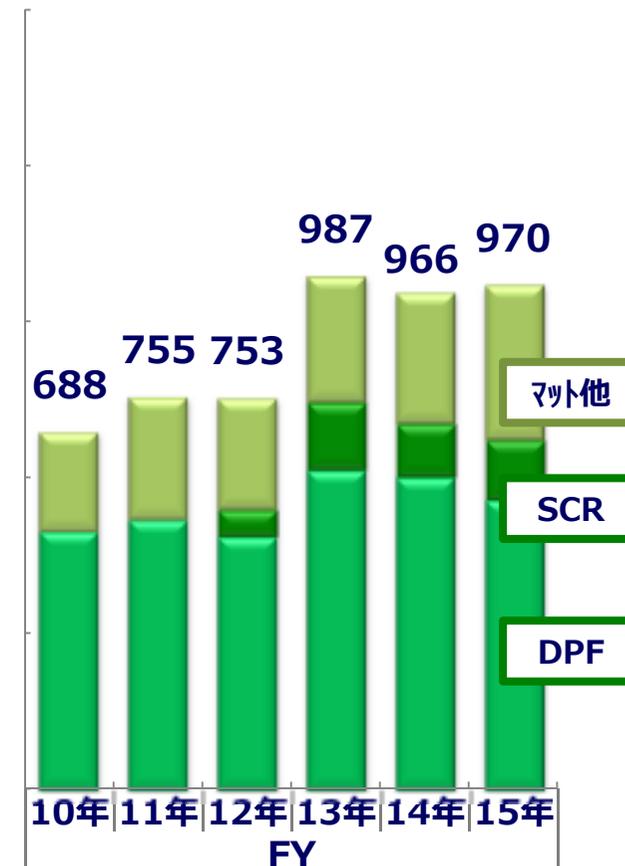


実績

(予測)

セラミック事業 売上高

(単位: 億円)



実績

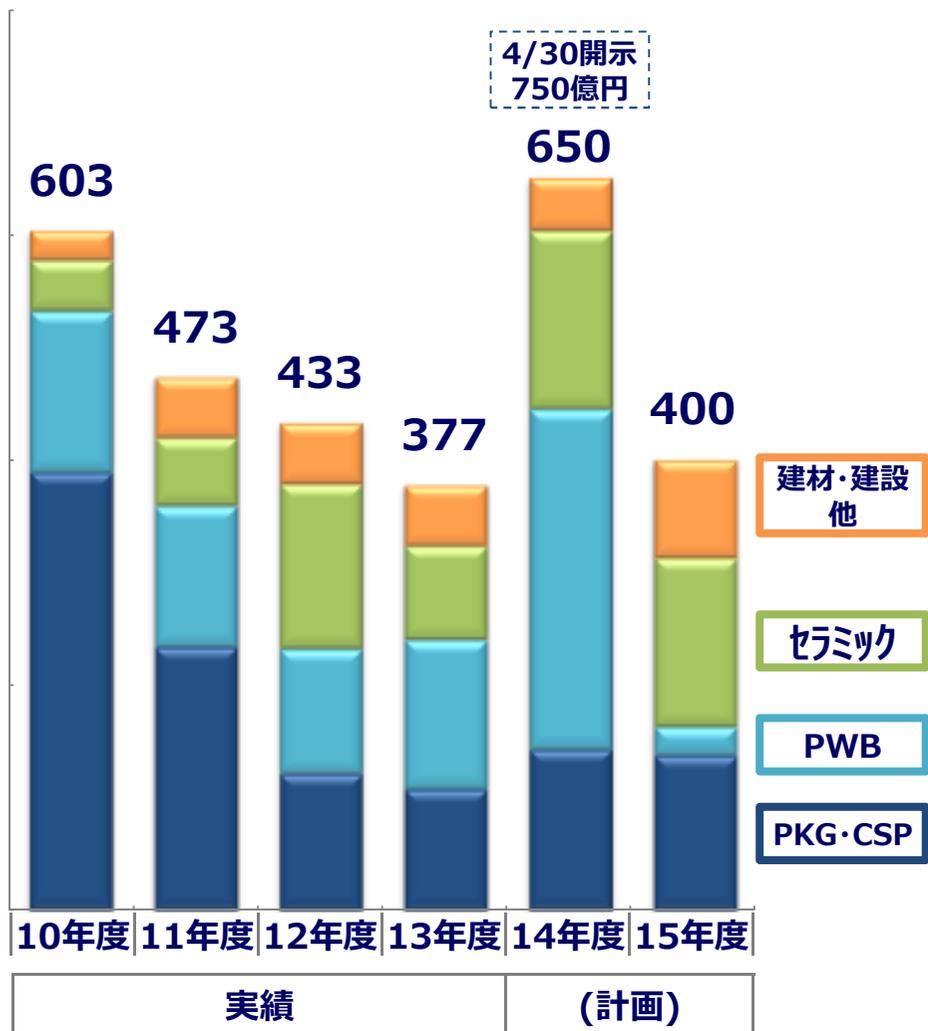
(見通し)

*建機・農機含む(乗用車の約3倍換算)

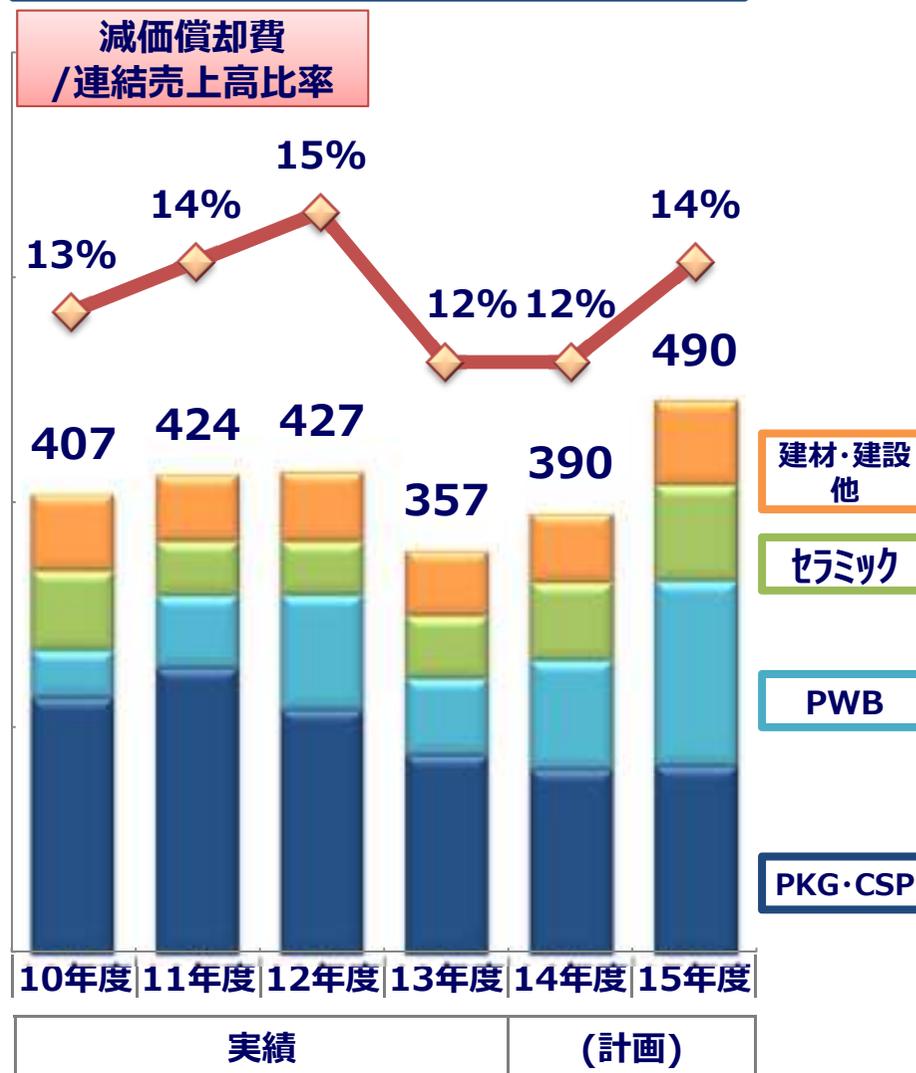
設備投資額・減価償却費の推移



設備投資額(単位: 億円)



減価償却費(単位: 億円)

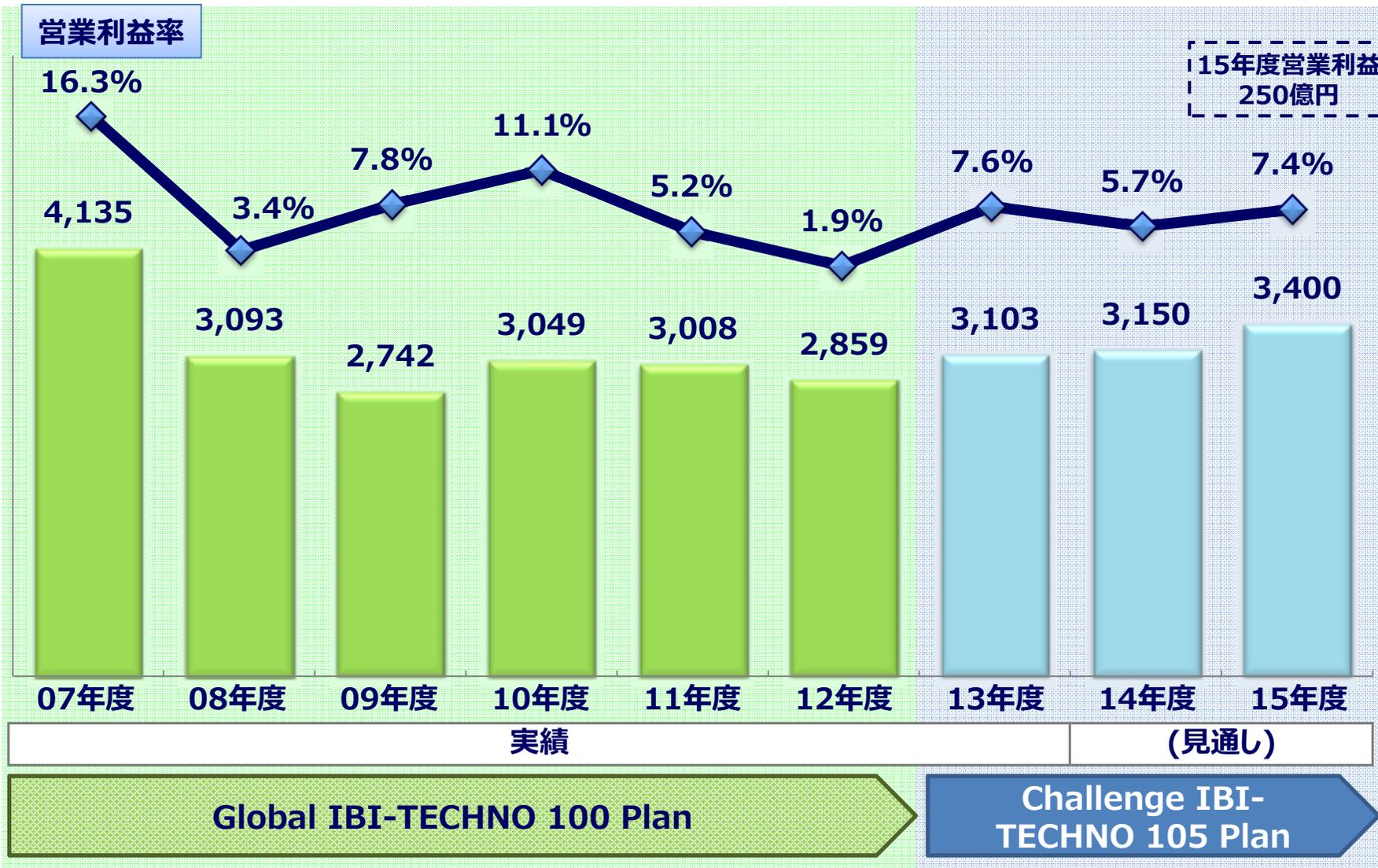


2015年度の見通し



売上高(単位: 億円)

営業利益率



配当方針



一株当り配当金(単位: 円)

